

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

2022 年 6 月 10 日

兵庫県知事 殿

提出者

住所 東京都新宿区西新宿2-6-1
新宿住友ビル3 4F

氏名 株式会社アキュラホーム
代表取締役 宮沢俊哉

（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）

電話番号 078-937-0744

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称 株式会社アキュラホーム 兵庫県管轄内事業場

事業場の所在地 兵庫県管轄区域内

計画期間 令和4年4月1日～令和5年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類 0651 木造建築工事業

②事業の規模 令和3年4月1日～令和4年3月31日
完成工事高 3,022,931（千円）

③従業員数 54名

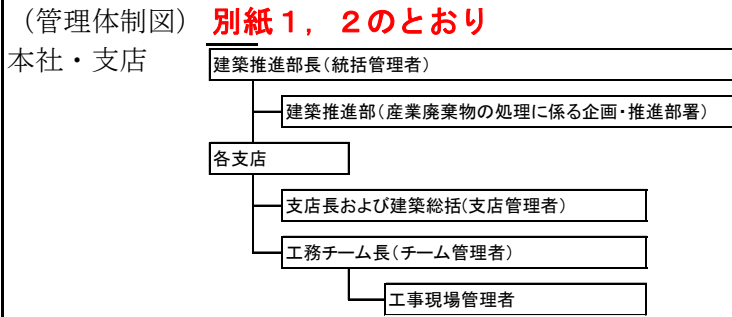
④産業廃棄物の一連の処理の工程

【主な処理の工程】

- ・廃プラスチック類 → 破碎/圧縮 → 再利用または安定型埋立
- ・紙くず → 破碎/圧縮/焼却 → 再利用または管理型埋立
- ・木くず → 破碎/焼却 → 再利用または管理型埋立
- ・金属くず → 破碎 → 再利用
- ・ガラスくず及び陶磁器くず → 破碎 → 再利用または安定型埋立
- ・がれき類 → 破碎 → 再利用または安定型埋立

※収集運搬および中間処分・最終処分を業者に委託

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度(令和3年度)実績】別紙1, 2のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】別紙1, 2のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の分別に関する事項

別紙1, 2のとおり

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項 **別紙1, 2のとおり**

①現状	【前年度（令和 3年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項 **別紙1, 2のとおり**

①現状	【前年度（令和 3年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組)			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項 **別紙1, 2のとおり**

①現状	【前年度（令和 3年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項 **別紙1, 2のとおり**

①現状	【前年度（令和 3年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
(これまでに実施した取組)			

②計画	【目標】 別紙1, 2のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

(第6面)

備考

1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。

2 当該年度の6月30日までに提出すること。

3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

(2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

(3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

7 ※欄は記入しないこと。

別紙1(廃棄物処理法-産業廃棄物処理計画書)
 現状：前年度(令和3年度)実績量
 計画：今年度(令和4年度)計画量

単位:トン/年

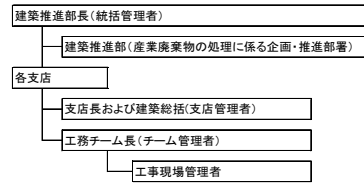
産業廃棄物の種類	排出抑制に関する事項		自ら行う再生利用に関する事項		自ら行う中間処理に関する事項				自ら行う埋立処分等に関する事項		処理委託に関する事項										
	排出量 (前年度実績値の①)		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量 (前年度実績値の②+⑧)		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量 (前年度実績値の⑤)		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量 (前年度実績値の⑦)		自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量 (前年度実績値の③+⑨)		全処理委託量 (前年度実績値の⑩)		優良認定処理業者への処理委託量 (前年度実績値の⑪)		再生利用者への処理委託量 (前年度実績値の⑫)		認定熱回収業者への処理委託量 (前年度実績値の⑬)		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量 (前年度実績値の⑭)		
	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	
0100燃え殻	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
0200汚泥	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
0300廃油	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
0400廃酸	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	
0500廃アルカリ	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	
0600廃プラスチック類	104.56	115.02	0	0	0	0	0	0	0	0	104.56	115.02	0	0	93.1	102.41	0	0	0	0	
0700紙くず	48.84	53.72	0	0	0	0	0	0	0	0	48.84	53.72	0	0	48.84	53.72	0	0	0	0	
0800木くず	404.99	445.49	0	0	0	0	0	0	0	0	404.99	445.49	67.43	74.173	281.68	309.848	2.75	3.025	278.93	306.823	
0900繊維くず	0.37	0.41	0	0	0	0	0	0	0	0	0.37	0.41	0	0	0	0	0	0	0	0	
1000動植物性残渣			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00									
1100ゴムくず			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00									
1200金属くず	48.25	53.08	0	0	0	0	0	0	0	0	48.25	53.08	0	0	48.25	53.08	0	0	0	0	
1300ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	210.34	231.37	0	0	0	0	0	0	0	0	210.34	231.37	1.2	1.5	102.55	123.06	1.2	1.5	0	0	
1400鋳さい			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00									
1500がれき類	600.27	660.30	0	0	0	0	0	0	0	0	600.27	660.30	5.18	8	585.03	702.036	5.18	8	226.53	271.836	
1600動物のふん尿			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00									
1700動物の死体			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00									
1800ばいじん			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00									
2010 建築系混合廃棄物(安定型のみ)	26.45	29.10	0	0	0	0	0	0	0	0	26.45	29.10	17.55	20	0	0	17.55	20	0	0	
2020建設系混合廃棄物(管理型含む)	32.02	35.22	0	0	0	0	0	0	0	0	32.02	35.22	0	3	1.04	1.2	0	0	0	0	
2410建設系混合廃棄物(石綿含有産業廃棄物)	3.52	3.87	0	0	0	0	0	0	0	0	3.52	3.87	0	1	0	0	0	0	0	0	
合計	1479.61	1627.57	0	0	0	0	0	0	0	0	1479.61	1627.57	91.36	107.673	1160.49	1345.349	26.68	32.525	505.46	578.659	

別紙2 (廃棄物処理法-産業廃棄物処理計画書)

1 当該事業場において行っている事業に関する事項

①事業の種類	0651 木造建築工事業
②事業の規模	令和3年4月1日～令和4年3月31日 完成工事高 3,022,931 (千円)
③従業員数	54名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	<p>【主な処理の工程】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・廃プラスチック類→ 破砕/圧縮→再利用または安定型埋立 ・紙くず→破砕/圧縮/焼却→再利用または管理型埋立 ・木くず → 破砕/焼却 →再利用または管理型埋立 ・金属くず → 破砕 → 再利用 ・ガラスくず及び陶磁器くず →破砕 → 再利用または安定型埋立 ・がれき類 → 破砕 → 再利用または安定型埋立 <p>※収集運搬および中間処分・最終処分を業者に委託</p>

2 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項 (管理体制図等, 別紙を参照)



3 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	<p>(これまでに実施した取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・包装材の簡素化 ・実寸発注の実施 (木くず削減) ・余剰材の回収、再利用 (ガラスくず (石膏ボード) 等)
②計画	<p>(今後実施する予定の取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・余剰材の回収、再利用品目の拡大 ・実寸発注部材の品目の拡大 <p>受注拡大予定の為、総排出量は増える計画です。 新しく解体業者と提携する際には、 極力優良産業廃棄物処理業者の認定を受けている処分場を利用する様に依頼。</p>

4 産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	<p>(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新築現場では現場毎および品目毎にて可能な限り分別 ・解体現場については、廃掃法の品目に準じて可能な限り分別
②計画	<p>(今後、分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・混合廃棄物の排出量を抑制する為に分別状況の確認体制を強化 (分別状況の写真提出 等)

5 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	(これまでに実施した取組) 該当なし
②計画	(今後実施する予定の取組) 該当なし

6 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	(これまでに実施した取組) 該当なし
②計画	(今後実施する予定の取組) 該当なし

7 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	(これまでに実施した取組) 該当なし
②計画	(今後実施する予定の取組) 該当なし

8 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	(これまでに実施した取組) 該当なし
②計画	(今後実施する予定の取組) 該当なし

管理体制図の例

